

## 令和4年度（2022年度）建設常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和4年（2022年）7月26日（火）
- 2 視察者 建設常任委員会（7名）  
楠本千秋（委員長）、西村尚武（副委員長）、井手順雄、  
坂田孝志、田代国広、増永慎一郎、本田雄三

### 3 視察の概要

#### （1）「熊本天草幹線道路」国道324号本渡道路（天草市）

及び「熊本天草幹線道路」国道266号大矢野道路（上天草市）

熊本天草幹線道路は、熊本市近見町から天草市までの約70kmを結ぶ地域高規格道路であり、90分構想の実現、渋滞の緩和、代替路の確保を主要な目的としている。

今回の視察では、国道324号本渡道路（天草市）の橋梁部分とび国道266号大矢野道路（上天草市）のトンネル予定地について説明を受け、意見交換を行った。

本渡道路については、県の担当者から、現在の天草瀬戸大橋の渋滞を緩和することを目的に整備しており、事業区間は天草市港町から志柿町までの1.3km（うち橋梁部分は1.1km）、全体事業費203億円で平成25年度に事業に着手し、中でも本渡瀬戸航路部については、今年5月21日には上部工の連結式を行い橋梁本体は概ね完成、今後、防護柵、照明、舗装の施工に入ること、さらに、開通まであと8か月であるため、本年度内の完成を目指して、しっかり工程管理をしながら工事を進めたいとの説明があった。



大矢野道路については、県の担当者から、道の駅さんばーるから上天草市役所までの渋滞の常態化を解消するため、大矢野町上から大矢野町登立までの約3.4kmを事業区間とし、全体事業費170億円で平成31年度に事業化

した天草管内としては初の自動車専用道路であり、主な構造物としては、925mの大矢野トンネルや3つの橋梁があること、今年度は（仮称）新大矢野トンネルを発注予定としていることや現在の用地買収の進捗率は面積ベースで3割を超えており、今後も用地買収を進め、着実に事業を進めていきたいとの説明があった。

## （2）大矢崎地すべり箇所（天草市）

大矢崎地すべりは、令和3年8月17日に発生し現在も2世帯5人が避難している緊急安全確保措置が取られた大規模な地すべりである。

今回の視察では、地すべり発生後の対応状況や応急対策工事等について説明を受け、意見交換を行った。

復旧工事については、令和3年8月30日に応急対策事業が採択、同年10月26日には恒久対策事業の採択を受け、令和4年2月7日には応急対策工事は完了したが、本工事については、令和5年3月までの完了を目指して工事を進めているとの説明があった。



## （3）国道266号望薩峠工区（天草市・上天草市）

国道266号望薩峠工区部分は、線形不良かつ急峻で道幅が狭く、離合が困難な場所もあるため、天草市倉岳町から上天草市龍ヶ岳町まで全体延長4.2km（現道延長は6.0km）の区間を1工区約1.2km、2工区約2.1km、3工区約1kmに分けて改良工事が行われている。

今回の視察では、6月4日に工事が完了し開通した2工区の施工状況に

ついて県の担当者から説明を受け、意見交換を行った。

県の担当者から、改修後は、地域間交流の促進、産業や観光の振興、救急搬送等の医療活動支援につながることを期待できること、さらに、1工区と3工区についても令和2年度に事業着手しており、用地が取得でき次第、工事に入っていく予定との説明があった。

